2011年9月4日

No.201

トリック仙台司教区

980-0014 仙台市青葉区本町

Tel (022) 222-7371 Fax(022)222-発行責任 広 員

URL http://sendai.catholic.jp/

桂島海岸清掃に参加して 東仙台教会

被災地ボランティ

ア活動

力から

めそのまま浜 が入れないた

で消却すると

希望者、塩釜ベースで合流したボラ シティア計20数人で、塩釜マリンゲ 合同会議のメンバーとボランティア トから乗船し、桂島に向かった。 18 日 仙塩地区代表者 京早苗

=写真=。 とを色濃く残していた は、東日本大震災の爪あ のの、船上から見る風景 心地よく肌に感じるも 真夏の青空と海風は

近くの民家に預けて ると、遠慮がちにあいさ の人に出会い「おはよう 浜に向かった。途中で島 る清掃用具の一輪車、鋤、 「ざいます」と声を掛け 桂島に到着して、桟橋 ゴミ袋などを持ち、 V

船の残骸、木材や瓦れき、生活用品 は巨大な海苔の乾燥機械が流れ着き 被害で民家はメチャクチャ、道端に からは波に乗って次々と漂流物が流 などの漂流物が流れ着いている。責 ていた。浜辺にはコンテナ、壊れた 防風林の松は塩害で茶色に立ち枯れ で角材や太いロープが出てくる。 掃が始まった。砂を少し掘っただけ 任者から作業の注意事項を聞き、 にぎわっているはずの浜が、津波の つを返された。例年なら海水浴客で 切りがない。 集積物は重機 海 清 0

皆で「よかったね」と笑顔に。 が、少しきれいになった浜を見て、 いう。終日、炎天下での作業だった

で生活をしている方々の希望に繋げ 出来ることから始めることで、そこ 簡単には修復できないが、微力でも 被災地が受けた大きいダメージは

泊りがけで参 ることができ 参加している ランティアも 加しているボ ればと思う。福 ランティアに いた。サポート ツ センタースタ い配慮が、 フのきめ細 ボ

私たちを支え

いることを実感した日になった。

傾聴ボランティア

リやトマト、大根にキャベツその他 さんから電話があり、「今、小名浜教 なかった。ボランティアとしてさい った。あまりの有難さに涙が止まら が青果市場で仕入れたというキュウ で」と。行ってみると、谷司教自ら 会で新鮮野菜を配っているからおい た会津から戻った次の日、信徒のS 野菜の山積みトラックに目を見張 4月1日、孫を連れて避難してい いわき教会 石井 キヌ

> られた。「出来ることなら私も皆さん があっただろうか。大いに反省させ かかわりで人のために尽くしたこと に来て、見ず知らずの人たちを支援 タートである。 震災への私のボランティア活動のス の活動に加えて頂き支援の真似事を している。自分は今までこのような してみたい」と思ったのが東日本大 たま教区の皆さんは見知らぬ被災地

中心は傾聴ボランティアである。 ま教区では聖テモテ教会を拠点に吉 ネルギーあふれる炊き出しの手伝い 教会に移された頃より私の支援のお 川神父を中心とし支援活動がなされ 被災地の案内。そして、今の活動の 布、ベトナム人やフィリピン人のエ 手伝いが始まった。物資の整理や配 ていたようだ。その後、拠点を湯本 私が避難している間でも、さいた

開催されたウェイン・バーント神父に じている。そんな折、いわき教会で に向き合うことは本当に難しいと感 協会の指導を受け4年ほど前からグ 力になれたら幸いだと思い、より良 ボランティア「みみ」との連携によ よる傾聴の勉強会は新たなエネルギ かり心を痛めている被災者の皆さん ループホームでの傾聴活動を行って い支援の在り方を模索中である。 わき教会の信徒、私たちいわき傾聴 たま教区のボランティアの方々、い -として私の心に沁みこんだ。さい いるが、放射能と地震と津波ですっ 私は別法人ホールファミリーケア 仮設住宅に住まわれる皆さんの

命の泉

めったにない機会となった▼大震災 き方はできないが、今回の大震 と三日分の仕事ができる」と喜 災は私たちの人生をやり直す 家岡田謙三は「夜中に目覚める んだそうだ。そんな超人的な生 ▼ニューヨークで活躍した画

リカ東部の飢餓に思いを馳せて、 がいにしているチベットを笑うこと ころではない。それが親にとって誇ら けることが多くてとても子の名前ど という名前を付けるのがはやったそ るが、チベットで子どもに「名無し」 と。失ったものを惜しみつつもこれか で生活物資のすべてを失った人の方 ら再認識させられている▼少しアフ できるものではなかったと今更なが 知った▼自然は人間がコントロール はできない▼バブルで家庭は傷つき、 標があった。少し遅れて豊かさを生き しいという具合で、いつも豊かさの指 ながるという訳だ。私たちもかつては、 うな。命名役の父親が忙しくて家を空 残をとどめている▼少し前の話にな 準をどこに求めればよいのだろうか。 らの人生を見直したい▼では、その基 聞いた。「いのちを失った人がいるの が、一部を失った人より諦めが早いと 大震災では快適さを追求する怖さを 洗濯機を持つ、テレビを買う、車が欲 なることであり、ゆとりある生活につ しいことだった。忙しいことは豊かに 命働いて快適にしたものが、無残な名 いまだに片付かない瓦礫には一生懸 に、私はいのちをもらったのだから」 「良さ」を取り戻したい。 守

発を前

に参加)

と

カュ

5 1

0

大会

ミサには、

Щ

父

ホ

セ

16

日

司

式で

行われ

は

W Y D

(ワールド・

半年という月日

司教 平賀徹夫

ポステ―ラに向けて徒歩巡

集合しサンチャゴ・デ・

コン

後 0)

(8月7日スペイン・ 日本からの参加者は、

ビーゴ

仙

A コ |

東日本大震災発生から半年になります。岩手県4,646人(1,999 宮城県9,404人(2,365人)、福島県1,603人(248人)、全国では15,719人 (4,616人)。大震災による死者と、カッコ内はいまだに行方不明である方たち の数です(8月21日現在、警察庁まとめ=河北新報)。

8月の旧盆には、各地で行われた仏式の法要の様子が新聞やテレビのニュー スに流れていました。カトリック教会でも同じように追悼の祈りが捧げられた ことと思います。ミサの中では必ず死者のための祈りがありますが、あれから ちょうど半年にあたっている9月11日の日曜日は、特に、この大震災で亡くな られた方々を悼んで永遠の安息を祈るとともに、ご遺族にはその悲しみをのり 越えて生きて行く力が与えられるように、また、被災されたすべての方々が、 支援の手を差し伸べる沢山の人々と共に再び立ち上がり、被災地が力強く復 旧・復興に向かうことができるように、仙台教区を挙げて、いのちの源である 父なる神からの恵みといつくしみを祈り求める日としましょう。こうして、主 キリストがいつもそのように生きられたように、わたしたちも悲しみと苦難の 中にある人々との絆・連帯を大事にして生きる姿勢を表したいと思います。

この半年、日本全国からそして全世界から、被災した方々のためにと本当に 多くの人々の善意が仙台教区に寄せられました。 個人やグループ、学校や施設、 小教区教会、団体や会社等々、数えきれない方たちから、深い祈りの込められ た義援金や励ましの寄せ書き、折り鶴や物品が届きました。感謝してもしきれ ません。

一方では同時に、「わたしの手足や力、わたしの時間や能力をどうぞ」とボ ランティアさんたちが全国から馳せ参じてくれました。 もちろんこれからも続 きますが、学生さんや社会人、親子で志願、という方もあったりして、仙台教 区サポートセンターでのボランティア登録数2,444人、派遣数2,238人 (8月18 日現在)との発表がありました。この夏の大変な暑さの中、家屋の掃除やドロ の掻き出し、ガレキ片付け、お湯出しや写真の洗浄等々の作業にあたってくれ ました。有難いことです。

これらは全部、仙台教区本部関連でのことです。カトリック内のほかのグル -プをはじめ、同じように被災者のために働いている組織はきっと何百あるい はもっとあるのでしょう。そのすべての善意の人々に神からの平和があるよう と祈らずにはいられません。

10

7

金 30

特別臨時司教総会予備日

8

東北塾講話

 \oplus \pm

. 26

S

教区司祭団·

年の黙想会

(元寺小路)

ス=

8名

11 10 9

月

藤 佐 仙 口々木明 Ш 麻 В 彰 台 東 美紀子 理子 コース= 村 征 (神学生) 中明 台 (四家) 回 (会津若松) 和野圭祐 家 6 (北仙 司 小 伊 沢真 ·祭 3 台 田 部 理 村

31 30 23 22 21 14

 \oplus **金 金**

(目) \$

25 24 23 20

よう呼びかけたことから始まった。今年はスペインのマドリ -ドで「キリストに根ざして生きる」(コロサイ2-7)を三 国連が1985年を「世界青年の日」と定めたことを受 教皇ヨハネ・パウロ2世が、青年たちにローマに集まる スが組まれ 派遣ミサが平賀徹夫司 4時30分から、 台教区では、 大会参加)の 直 В 参加者のた 月 つの ドに 接 15 5 ダマドリ 日出発、 日] 行 コ 教 金 き ス Ì

ーマに8月16 日~21 日まで開催された

ほし 自己紹介と、WYD を通して、 父(グアダルペ会)、 あたっての心構えや、 ケベ 世界中の青年たちとの交流 ミサ後、 平 た。 い」と参 -賀司教 ック会) 舟山 参加者が一人ひとり 多くのことを学んで は、 神父から、 加者を励まし が共同司 ミサの説 工 への抱負を テメ 注 参加に 意事 神父 項

人の青年は

「サンチ

ヤ

渡され らの参 松 い創造」の 史 説 朗 崩 神 が 加支援金 一父から あ Tシャツと、 仙 区 台教区 事 人 務局 教区か 新 長

真樹

沙 ઇ

西 田

仙

ઇ

田

ľ

ф

W

西

仙

[野崎

史子 原

船

渡

井

るの あります を楽しみにしてい デ・コンポステー 入れら では 何か自 ないかという期待が 抱負を語 それを素直に受 分に変化が起こ ラまでの いと思 ます。 WY 巡

D

台教区からの参加

け

9 月 10

9·3 グアダルペ会副 使徒職協力者の 部落差別人権委・事務局会議 総長来訪

5

教区司祭団役員会 元寺小

13 11 10

月

ださい。 の で、 報告は次号にご てき

行は、8月 (大河原 24 日に帰っ

必司祭評・役員会、 **B** \oplus 火 **田** 金 级 用 **田金木** 大震災から半年・ インターナショナルミサ 宣教司牧評議会・定例会 広島教区司教叙階式 仙台教区サポート会議 オタワ愛徳修道女会 福島県・カトリックの集い 部落差別人権委・定例委 社会司教委員会 50 周年閉年ミサ

19 18 16 15

少司祭評・役員会、 県連絡協議会 (福島) 野田町教会堅信式

25 聖霊刷新グループミサ 宮城県南教会堅信式 教区司祭団月例会 八戸・聖ウルスラ学院80 仙台教区サポート会議 東京教区司祭研修会 教区司祭団役員会 周

昨日より今日、 原 今日より明日一歩ずつ 教 会 か

町

日に工事が始まりまし ることになり、7月27 修理の支援をして下さ 仙台教区で教会建物の 特に2階の4部屋の壁の損傷が 壁に見事にひびが入り今にも壁 すべてに大小の亀裂が入り、聖堂 月11日の大震災で屋根瓦が落ち んな原町教会でしたが、 ルもバラバラに剥がれました。こ ひどい状態でした。トイレのタイ は十字架のかかっている背後の て雨が漏り、部屋という部屋の壁 (漆喰) が落ちそうな状態でした。 福島県の原町教会の建物は、 3

礎が丈夫にできていた 最高の建築だったので すが、当時の建築では しょうか、幸い柱と基 献堂 60 年の建物で

青空に映えてとてもすてきです。 ました。その赤いトタンが遠くか 助言によると、大丈夫すぐに修理 った壁を直しています。 2階の4 らも見え、屋根の十字架とともに 瓦は、まだ焼いていないというの できますとのことでした。足場を ので、北仙台教会の伊藤さんのご で、屋根は思い切ってトタンにし 屋根が終わり、現在はひびが入 工事は順調に進んでいます。

> 聖堂、書斎、着替え 部屋は、すべてボー ドが貼られ、1階は、

でしょうか、とても楽しみです。 理され、エアコンも備えられます。 でいます。また、外に見える修理 まだ第一段階で、壁紙は貼られて いませんが、どのように仕上がる 以外で、電気の配線や水道管も修 台所、 香部屋と工事が進ん

原発事故放射能被害—

故の被害がありました。信者は分 と共に、原子力発電所の放射能事 原町教会の信者は、地震の被害



家族、その他6家族です。 区域に11家族、計画的避難区域に ほどいました。その内訳は、警戒 1家族、緊急時避難準備区域に12 かるだけで約60人 (約30家族)

ら主任司祭であるラトゥール神 族で、10人くらいになってしまい 避難しています。遠くは大阪です 父様と仙台教区から協力司祭の ました。それでも、北仙台教会か 現在教会に見えられるのは11家 現在は15家族が福島県内外に

(3)

いです。 さるので信者一同感謝でいっぱ ます。遠いところからお出でくだ 梅津神父様が交代で日曜日にお 出でくださって毎週ミサがあり

信者家族にとって、こんなにあり きました。遠くに避難されている く、放射能事故の見舞金もいただ 援や教会の修理の支援だけでな しています。 がたいことはなく、 また、仙台教区から、司祭の応 信徒一同感謝

さったりして私たちに、一歩ずつ り、一緒にミサにあずかってくだ 地から、多くの方々の訪問をいた の言葉に耳を傾けてくださった 葉をかけてくださったり、私たち 受け、自動車でしか南相馬市には 道が津波ですっかりダメージを 紙をいただいたりしています。鉄 だいたり各地から励ましのお手 前に進む力をくださいました。 ってくださったり、励ましのお言 でになって、支援物資を置いてい な中、遠方より多くの方々がお出 分という不便なところです。そん 入れません。仙台からは約2時間 一本松インターからは、1時間45 今回の被災に際して、県内外各

含め、教会の建物や共同体を「今 うものも多く、自分たちの生活を 安な一時期を過ごしました。しか 途方に暮れ、先が見えずとても不 後、どうしたらいいのだろう」と 今回の大震災で、私たちは、 右記のような支援を受け、 避 失

> 支援金をお渡しする機会を生か 難された方々へ月のお便りを送 ったり、行事を電話で知らせたり、

うが、一歩がなくては千歩はない いいたします。 と考えているこの頃です。

ことが、なんと幸せなことなので たり、表土を剥いだり、植木を剪 計画的に、市あげての除染作業に じています。 まだまだ何年もかかるのでしょ り、以前のような状態に戻るには、 普通であること、当たり前である 除染作業をする予定です。 幼稚園さんと相談して、草を刈っ 入りました。教会も今後、さゆり うやく信者たちの更なる輪を感 して連絡を取ったりする中で、よ しょう。避難された方々が元に戻 定したり、側溝を洗ったりして、 失って初めてわかりましたが、 南相馬市は、8月に入ってから

がとうございました。 また、今後とも、よろしくお願 まわりの方がたのご支援、 あり

原町教会 高野郁子

平和を求めるキリスト者

ら、元寺小路教会大聖堂で行われ うと、8月14日(日)午後2時か から20人ほどが集まった。 た合同祈祷会には、市内の各教会 生きる平和な世界を祈り求めよ 震災を越えて、全ての人が共に

は、説教で「神と人との平和」と 仙台黒松教会の中家契介牧師

害はどうして起きたのか? 神の 題して話された。「3・11の大災 葉に詰まってしまう。 裁きなのか? と問われると、

ことになる。震災によって、 ちのために死んでくださった。そ ろ私たちは神に近づいた。いや、 れは、私たちが神から離れていた の救いの業を生きているだろう の愛がある。しかし、私たちは神 か? 震災前、無縁社会と言われ、 人々は孤独の中で生きていた。こ 人の敵ではない。 キリストは私た これは神の裁きではない、神は むし



さってい

る」と話

ちに近づ 神が私た

した。

東北学

の演奏をした。 ドベルリンガーズ=写真=が賛美 台白百合学園中・高等学校のハン 歌隊と仙

計報

鹿田 節子 マリア・ローザ・クリスト 67 歳

|1982年11月7日 1944年12月21日生 (ドミニコ会修道女)

豊かな感性を手芸、手仕事に生か 入会後32年余の修道生活を通し 2011年6月27日 優秀なドライバーとして奉仕。 よく祈っておられました。

絆の口

北仙台教会までのメッセージ 宮城県大会から8月14日、



シャルトル聖パウロ修道女会 紫山修道院 11 7 .

iV2 ひとつ もに歩んで 行きまし ţ j



児童養護施設

嬉しいことは 分かち け合う 友情満ちたる 合 苦しいときは 助



八木山教会

きます。 ると確信して八木山教会は 聖霊が皆様の内に満ちてい 新しい絆と新しい創造に向 国道6号線の被災された けてお祈りをさせていただ 人々と共に歩んでいきます。





シャルトル聖パウロ修道女会 泉修道院11・7・14

聖パウロ会女子修道会

祈ります。

深めよう 神様との绊

強めよう

出会う人々との绊

八木山カトリック幼稚園

11

7 21

ゆっくりでいいから すこしずつでいいから

人ひとりが自分の歩幅で歩んでいけるよう 互いに心をひとつにして 人ひとりが元気をとり戻していけるよう



校・高等学校 仙台白百合女子大学 仙台白百合学園幼稚園・小学校・中学 「広がる愛 未来へ」 11 7 .

元寺小路教会

11 7 •

欺くことはありません」 希望はわたしたちを

私たちをつつむ この広い世界の中で 希望を胸に抱いて あふれる夢追い続け **今歩き出す力を信じていたい** どこまでも続いている

私たちのそばにいるはずくじけないでいよう かけがえのない友が

さあ熱く両手を広げて

聖ドミニコ会女子修道会

天使園修道院

11 7

りいたします。

光は闇のなかで

輝いている(ヨハネ1・

信頼と希望のうち

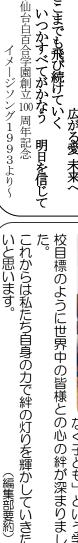
に歩みまし

j

!!

翼をはばたくように

どこまでも飛び続けていく 心の中に映るすべてを信じて いつかすべてがかなう 広がる愛 未来へ





小・中学校 聖ウルスラ学院英智

ともしてくださいま 神様は復興の灯りを りがとうございます。 見守ってくださり、あ 神様、いつも私たちを 11 . 7 .

絵やお手紙、折鶴など トルコから励ましの ス、ベルギー、ペルー、 日本の学校、フラン

なぐ子ども」という学 「世界の兄弟と手をつ が届きました。

これからは私たち自身の力で絆の灯りを輝かしていきた

(編集部要約)

かもしれません。今この時、

いそと」取り組もうー

本杉教会 11 24

ただいた。 ミサの中で、被災した2人の方に、今の思いを話してい

が、津波を上回る大きな波となって私を包んでくださっ の皆さんが温かい手を差し伸べてくださった。神様の愛 「大きな津波で全てを失い、呆然としていた私に、教会

神の恵みを運ぶ者としての使命を、喜びを持って「いそ みを与えてくださる。でも、それを被災した方々の所に 届けるのは、私たちです。 主は、大きな困難を乗り越えるために、多くの愛と重



りの絆 被災した方々 神様と私たち一人ひと 一人ひとりと私たちと

うに!お祈りします。 固く固く結ばれますよ



小さき花幼稚園

いくことができますように。 ひとりがかんじ ちからづよく あゆんで かみさまの はかりしれないあいをひとり 11 8 •

そして わたしたちも わたしたちの できることで かなしんでいるひとびとに よりそって いきたいと おもいます。



英智幼稚園 聖ウルスラ学院

11 8 •

日々、頑張っている 謝いたします。 全国の皆様から頂い た温かいご支援に感

日も早く笑顔と元気が戻ることを願 被災者の方々に



聖ウルスラ会

木ノ下修道院

っています。

ことを見て、神様に感謝 望の種が芽生えている 分かち合いを通して希 ておられる方々からの 被災者の皆様や協力し

し祈っております。

ありません。 悲しみ、苦しみは長く続くものでは としみじみはなされました。 く心豊かな日々の生活に戻りたい 先日、被災された方々が「一日も早

の絆を強めて

日々、キリストに結

希望の力を信じつつ

共に歩み続けましょう。

愛しつつ生きる。温かい愛を心にか

互いの絆を深め 教会共同体

震災の傷跡の中で 信じ、希望し、

(詩編127

れば 家を建てる人の骨折りは空し

一神によって建てられるのでなけ

日も早い復興を願って

11 • 7

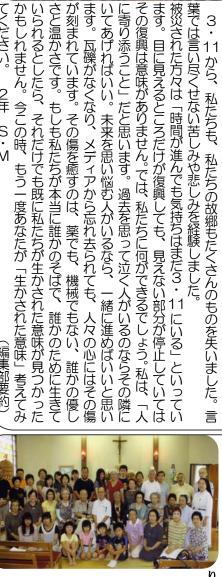
聖ウルスラ会一本杉修道院

私たちは、喜びを共に喜び、苦しい 時は助け合う気持ちには変わりあ りません。

葉では言い尽くせない苦しみや悲しみを経験しました。

聖ウルスラ学院英智高等学校

11 . 7 . 27



合い、 れること 共に支え を信じ、 日々に戻 心豊かな 日も早く 頑張りま しよう!!

> 界中の人々から温かな愛の手が差. リタスジャパンの塩釜ベースがあり大 伸べられました。今でも隣の教会に力 3月11日の東日本大震災の際には、世 塩釜カトリック幼稚園 勢の方々が復興のた らも大勢の人々の愛 てくださっていま めに力を尽くし支え す。私たちはこれか の心を園児に伝えつ たいと思います つ、祈り続けていき 11 8

北仙台教会

ミサで絆の口 聖母被昇天の 11 . 8 . 15

ちはこの大震 神さま、私た れました。 ーソクは灯さ

強く感じまし との大切さを

の旅路の中れからの信仰 私たちは、こ

聖母マリア、 きますように。 してください。 私たちのためにとりな





災を通して人 を思いやるこ

て神の国を実現させていくことがで で、自分ができる小さな行動を通し

(編集部要約)

ネス仙台 5

にあるハーネル仙台を会場に「小出さんをよぶ会: | 仙台」 主催の講 に信用できるのか多くの疑問が残る。8月5日(金)、仙台市青葉区 いる。政府や東京電力、原子力安全委員会の発表する情報が、本当 食品の放射能汚染、加えて風評被害と、計り知れない影響を与えて ジをこうむった。放射線漏れによる影響は、地元住民のみならず、

およそ60人が参加した。また、インターネットでのライブ映像配信 演会が行われた。賛同団体としてカトリック正義と平和仙台協議会

話された。 たちにも分かるようにていねいに を述べ、まったくの素人である私 りのある一人としての無念の思い た」と原子力発電と多少とも関わ 3・11以後世界はひっくり返っ ければならないことは残念です。 真=は、「こういう集まりをしな 講演冒頭で、小出裕章さん=写

間運転することで燃やされるウラ kWの原子力発電所を一基、 の総量80グラムに対して、 であり、広島原爆で燃えたウラン 明から始まった。火力発電との違 と同じ湯沸し装置によるという説 クリーン上の図表で示した。 原発 ンの重量が1トンであることをス いは、厖大に生み出される放射能 原子力発電の原理は、火力発電 100 万 · 1 年

密集地帯からある距離だけ離れて あること。③原子炉敷地は、人口

居住区域であること。②非居住地 島は群を抜いている。北米、 震の発生する地域では環太平洋沿 年々貯め込んでいく機械である。 原子炉からある距離の範囲内は非 た。原子炉立地審査の指針は、① 原発を都会には作らないこととし いる。原発推進派がとった対策は、 ある。日本は、地震の巣の上にな まったく地震が起きないところが アフリカ、ヨーロッパなどでは、 の内陸、オーストラリア、ロシア、 岸が特に多く、その中でも日本列 を世界地図上に表し、世界中で地 は広島原爆の1万倍の放射能を んと 53 基もの原発が建てられて また、地震の巣と原発の立地点 南米

供給している。 長い送電線を引いて管内に電気を ど遠く離れたところに原発を建て は原発を作らず、福島、青森、な いること。と定められている。 東京電力は、自分の給電範囲に

そこで、原発推進派の結論は、破 原発は機械である。機械は時に事 回は、この無視してきた「想定外」 を捺して無視することとした。今 局的事故は「想定不適当」と烙印 破局的事故の可能性は消えない。 間である。人間は神ではない。時 故を起こす。原発を動かすのは人 の事故が起きたということだ。 に誤りを犯す。どんなに願っても

熱を出しつづける。これを冷やし 呂桶一杯の水を蒸発させるだけの 生成物の出す熱は、1分ごとに風 ない。原子炉は止めても、核分裂 水素爆発が起きてしまった。 水がうまくいかなかったことから、 続けなければならなかったが、注 原発は事故があっても止められ

難指示は、「万が一のことを考え で甲状腺被曝量が50ミリシーベ て…自主避難」というものだった。 ーターはなぜか隠された。 ード)という機械があるが、そのデ レーションするSPEED(スピ 半径30キロ圏内の広範な地域 事故後の放射線の拡散をシュミ 。国の避

> はなされなかった。 ルトを越えたが、 ヨウ素剤の投与

3・11の東日本大震災によって、福島第1原発は、大きなダメー

牡鹿半島、 放射能で汚れた世界で生きるしか 泥も、すべて放射性物質になった。 土地も食べ物も、瓦礫も下水の汚 線管理区域以上に汚れてしまった。 日本の法令を厳密に適用すれば、 適用すれば、琵琶湖の面積の2倍、 チェルノブイリ事故の避難基準を の汚染を受けている。 理区域にしなければならないほど 般人が入ることができないことに 値は、放射線管理区域とされ、一 人々が普通に生活する場が、放射 福島県全域に匹敵する地域を放棄 宮城県は、福島県と接する南部、 なっている。現在、福島県全域、 しなければならないことになる。 1㎡あたり4万ベクレルという 北部一帯が、放射線管

もされている。(http://recorder311.smt.jp/movie/3371)

の講演ということで会場は満員で、別室でのテレビ中継も入れると ほか多数の団体が参加している。今や時の人となっている小出さん

ることになる。 を覚悟で留まるか、避難による生 なくなったということになる。 活の崩壊か、究極の選択を迫られ 住民は、被ばくによる健康被害

ため、放射線の影響による発ガン 射線によるガン死亡率は低下する に対する責任はまったくない。 率が高い。子どもたちには、原発 が、子どもは、細胞分裂が活発な 速度が遅くなることもあって、放 い、50歳を過ぎると、細胞分裂の 何としても子どもたちを守りた

域の外側の地帯は、低人口地帯で

障しようとすれば、倒産するのは 生活ということになり、これを保 は、失われる土地、強いられる被 福島原発の本当の被害の大きさ 崩壊する1次産業、崩壊する

東京電力だけではない、日本国が ってもよいだろう。 倒産しても償いきれない被害とい

できないままどんどんため込んで とができない。核廃棄物の処理が けなければならない。 年に亘って生命環境から隔離し続 しているが、これを無害化するこ ンと例えられている。広島原爆の いくことになる。これらは、10万 80 数個分の死の灰を年々作り出 原発は、トイレのないマンショ

できるだろう。 処分しかないが、10万年先の地球 に対してだれが責任を負うことが 高レベル廃棄物の処分は、地層

話を結ばれた。(文責 岩井 誠) ると思うが、私たちはこれを乗り 世界を目指していくことが今求め 地球を宇宙からみると、人口密集 越えていかなければならない、と られている。大変な困難な道であ 費のない未来を、原発に頼らない 地は輝いて見える。エネルギー浪 た産業革命からおよそ20年、夜の 厖大なエネルギーを使い始

小出裕章さん経歴

学科入学 1968年東北大学工学部原子核T 京都大学原子炉実験所助教 1949年東京生まれ

士課程修了 1974年同大大学院工学研究科修

性を訴え続けている。 専門家としての立場から、 研究を続けることを決意。 づき、1970年女川原発集会を機 原子力を学ぶことでその危険性に気 に原発をやめさせるために原子力の その危険 原子力の

神様の恵みをいっぱいに浴びて のキャンプに参加し、友情を深め 気いっぱい。今年の夏も教会学校 子どもたちの夏 大震災の後でも、子供たちは元

高校生

楽しい時を過ごした。 盛岡地区教会学校

田沢湖でキャンプ

7 月 31 ぶことができました。 私たちの近くにいることを学 緒」をテーマに、神様が与えて のキャンプは「神様といつも一 キャンプ場でありました。今年 のキャンプが秋田県の田沢湖 にかけて、 いに遊びながら、神様はいつも くださった雄大な自然の中で ハウスや湖畔で元気いっぱ 日 1日目の日中は、ツリ 盛岡地区の教会学校 (日)~8月1日(月)



カュ

たと思います。



時間はとてもかけがえのな 0 らどのような話が聖書にある 子どもたちみんなで探しなが 中の色々な話をカードにして、 聖書の勉強をしました。聖書の ューの味も最高においし しあって作ったカレーやシチ ものになったと思います。協力 大活躍しました。 かを知りました。 1泊2日、みんなで過ごした 夜は、ミゲル神父様と一緒に

私たちリーダー一同、主に感謝 ますように。 地区で楽しいキャンプが出来 しています。来年もまた、盛岡 を終わることが出来たことを、 怪我がなくキャンプの全日程 こうして特に大きな事故や

に分けて合同キャンプを行って 合同キャンプ」(7・30~31) 神様にまもられた 仙塩地区8教会では、毎年2回

きた。例年は、松島少年自然の家

さんお サブリ ップを ダーシ 姉さん のお兄 発揮し、 ーダー 中高生がキャンプをした。 さらに、8月2日~3日は、 釜の子どもたちが参加した。 寺小路・一本杉。西仙台・塩 屋丁、8月1日~2日は、元 北仙台・東仙台・八木山・畳 場に、7月30日~31日は 野木の「ドミニコの家」を会 震災の影響で使用できず、青 で行われていたが、今年は大

たちー

きるのか…。今年は、 たちの安全を守ることがで 大きな余震が続く中、子供



ちの思いを絵や文で自由に表

な紙に、震災を経験した子供た

ったと思います。初日は、大き

現しました。どの子も、亡くな

った人々、被害にあった人々、

V

神様にまもられたキャンプだ 思議なことにいつも雨がやみ、 の中、外で活動をする頃には不 ほっとしました。また、悪天候 冷静で誰一人騒ぐことがなく、 や汗が出ましたが、子供たちは 大きな地震が起きた時には冷 食等、直前まで準備に追われま 対応マニュアルの作成や非常 プの開催自体が不安で、緊急時 した。実際、夜中に警報が鳴り、

サの中で奉納しました。

二日目は、主日の福音「2匹

=写真=に仕上げ、次の日にミ ちが順に協力しながら折り鶴 もありません。その紙を子供た

とのやりとりを想像しながら、

(八木山教会

佐々木いづみ)

した。イエスと弟子たち、群衆 の魚と5つのパン」を劇にしま

の祈りを捧げ、パンを裂いて配 セリフを考えたり、実際に感謝 「より安全・確実なエネルギ

今回の震災で、地殻の歪み、津波のエネ の巨大さに圧倒され、大きな被害を受けた。 原発も大事故を起こし、大量の放射性物質を飛散 させ、放射線の影響は、今後長時間、相当範囲に 及ぶことが懸念される。

で私達は熱や電気その他の形のエネ を大量に利用して、豊かな生活を築いてきたが、 そのありようにも見直しが迫られている。 中国、インドなど膨大な人口を抱える国々が急速 に発展を遂げつつある現在、今後もエネルギ 費量は間違いなく増加するものと考えねばならな

これから原発に依存せずに、太陽光・風力・ノ マスなどの自然エネルギーを中心に電力そ 要なエネルギーを確保するには、省エネ技術を含 一層の技術開発が必要となる。 年或いは 20 年以上かかろうとも、 らば、地球環境の保全にも望ましいことになろう。 (地球を大事にする会 松永利昭)

だけでなく、ご聖体をいただく ちとの出会い、すべてにおいて 無事、元気な子供たち、キャン 二人ではなかったような…)キ 鶴の奉納、共同祈願と全員で心 歌声による賛美、福音劇、折り 日々のミサにつながるものが 神様にありがとう!です。 スター、ブラザー、リーダーた ヤンプを終えました。2日間の うちに (涙していたのは一人や をこめてミサ奉仕をし、感激の 侍者、朗読、答唱詩編、元気な プの最後には、子供たちによる あったように思います。キャン ることは、福音の理解に留まる るイエス役の様子を見たりす プを支えてくれた神父様方、シ

た。その様子に、大人たちが皆

応援の言葉が出てくるのでし っており、迷うことなく祈りや

心を打たれたことは言うまで

悲しむ人々への思いを強く持

聖母被昇天祭 マリア行列・・・ 誓いも新たに追悼」 東仙台教会

日行われた教会周辺の草刈と婦 八部手作りの料理、壮年部の焼き 8月15日聖母被昇天の祝日。前 当日午後六時マリア行列が始 青年部は子供のため花火を準

ある物故者41名の追悼が行われ た方々と東仙台教会に関わりの 中で東日本大震災で亡くなられ が声高らかに夜空に響く…スペ を手に聖母賛歌「あめのきさき」 を先頭に、参加者全員が提灯と花 厳粛のうちにミサが終了。 と。引続きミサが、今年はミサの ルマン病院~司祭の家~教会へ 高齢者を除きマリア様の御輿

その後、納涼パ―ティー、夜空



同様参加者の一人が松明を に花火が打ち上げられ、去年

浦野神父様の踊る姿が!皆の輪 想的な踊りの見事さに拍手喝采。 持ち口の中に火を呑み込む姿に が次第に大きくなっていく…… る。最後に好例の七夕踊りの輪に に成井神父様の姿も見受けられ が…笑顔と笑い声・楽しいひと時 飲物と料理・焼き鳥を手に人の輪 驚きと拍手。夜空の火の輪や、幻

(佐藤定雄)

八木山教会と仙南4教会 合同で聖母被昇天を祝う

いる。 理地区の被災者救援を目指して 4教会との交流を図りながら、 亘 い創造」の意向を受けて、仙南 八木山教会では、「仙台教区新

パーティーを実施した。 理・白石・角田)といっしょに祝 昇天を仙南4教会(大河原・亘 おうと8月15日(月)ミサと焼肉 その活動の一環として、聖母被

成井大介神父の共同司式で行わ 地区担当司祭小野寺洋一神父と れ70名余が参加した。 10時30分からのミサは、仙南

=、派遣の歌に「希望の灯(あかり)」 られた方の安息と、今も苦難の中 を高らかに歌い大震災で亡くな れたろうそくに灯をともし=写真 日々が一日も早く訪れるように にいる方々に思いを寄せ平安な 派遣の祝福の前に全員に配ら

当日は、 猛暑の一日だったが、

> 肉やソーセージ、焼きそばなどが 焼かれ、冷たい飲み物とともにふ 教会前の広場では、大きな鉄板で るまわれた。



と決意を新たにした。 された方々に心を寄せていこう に今後とも交流を深めつつ、被災 感された」との声も聞かれ、互い て私たちは一つ』ということが実 に隔てられているが、『主におい 参加者からは、 「普段は距離的

仮設住宅に七夕飾り 本杉教会

住民と協力して七夕づくりに取 支援を続けてきた。7月に入って 方々が入居している仙台市若林 けている一本杉教会では、若林区 り組んだ。 区新井東町通仮設住宅を訪問し 0) 本杉ベースとしての活動を続 荒浜で津波の被害にあった 仙台教区サポートセンターの

商工会議所や七夕づくりのプ



飾りを作り上げた。 ロの協力を得て、 2本の七夕

フランシスコ会聖書研究所が始

聖書の翻訳と注をつける仕

事

的な七つ道具を作り上げた。 笑みだった。 見上げるみんなの顔は満面の 飾りを2本の竹に飾り付けた。 網、屑籠など仙台七夕の伝統 流し、短冊、巾着、 の集会所に集まり、 完成した七夕を嬉しそうに 8月5日(金)準備していた 毎水曜日の午後、 着物、 仮設住字 投 吹

ばる徳島から訪れた方々も思 も一層力が入っていた。 わぬ七夕飾りに感激、 下で阿波踊りが行われ、はる その日の夕方には、七夕の 踊りに



新刊案内

聖書―原文校訂による口語訳

0円 1年12月31日まで。以降8, フランシスコ会聖書研究所 、定価 本体6,667円(201 訳 0

リック信者のみならず、広くキリ れ、今回、このような形で聖書全 強い声が同聖書研究所に届けら たが、合体にしてほしい、という 書全部が分冊として出発されまし 喜ばれていました。こうして、 スト教会の信徒の方々にも、大変 各書が分冊の形で出版され、 たのは、1056年 以降、「旧約聖書」、「新約聖書」の のは、2年後の1958年でした。 最初の『創世記』が出版され カト 聖

書」が多くの人に読まれることに られているため、カトリック信者 聖書の一部が「続編」の中に入れ 体が1冊として出版されました。 より、消えていくでしょう。 しゃいました。そういう々の心配 心配している教会関係者もいらっ 別と思い込んでいる人もいる、と の中には、「続編」は聖書本文とは 「共同訳聖書」は、 今回のフランシスコ会訳「聖 カトリック

れていることが、大きな特徴があ 書となっています。 必要な個所に地図や、 注がつけられていること、さらに、 各ページに、 読者にとっては使いやすい聖 関係のある個所 図が挿入さ